#### ■無自覚の大多数■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第468号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。 できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

. . . . . . . . . . . . . . . .

### 468 目次

- 1. ご挨拶とお誘い
- 2. まつむら塾より
- 3. ブログより:無自覚の大多数
- 4. 今週の動向+今後の予定
- 5. アクセスポイント:問い合わせ先
- 6. このメルマガについて

. . . . . . . . . . . . . . . .

1. ご挨拶とお誘い

まずは先週の報告とご挨拶。

いよいよ年度末ということで、関係法人の決算が重なって、先週は笑恵館に籠ってバタバタと暮らしました。

■3/28(木)は、蒲田・蓮沼の「ふきの庭」を訪問し、オーナーが借地権を買い戻した隣家(仮称永野荘)の活用について相談するため、LRメンバーのYKさん、YTさんを交えて「永野村構想」で大いに盛り上がりました。

#### http://fuki.land-resource.org/

その夜「笑恵館 de シネマ」で見た「ブルージャイアント」は、劇場で2回、アマプラで4回目の鑑賞となりましたが、何度見ても号泣ポイント満載のドはまり映画です。

- ■3/31(日)は、久しぶりに名栗の森オーナーシップクラブの現地例会が実現し、東の森の手作り林道をリハビリを兼ねて尾根まで登頂しました。
- ■4/1(月)は、いよいよ笑恵館 10 周年記念月間の初日を迎え、コンテスト of コンテストの応募案 15 点を外部の ギャラリーにお披露目しました

さて今週のお誘いです。

■昨日よりスタートした「笑恵館 10 周年」は、次の日程を予定していますので、是非この機会にお越しください。

4/1~4/11 コンテスト of コンテスト 公開審査会 (人気投票)

4/11(木)17:30~ 笑恵館の誕生パーティ 参加費 500 円・要予約

4/18(木)18:00~ 笑恵館 10 周年持ち寄り食事会 参加無料・要予約

4/25(木)17:00~ 笑恵館クラブ 10 周年記念総会 参加無料・予約不要

詳細は、その都度お知らせします。

- ■4/3(水)と 4/6(土)2 日間、笑恵館の受付でよろず相談承ります。
- ■4/7(日)15 時~は、久しぶりにボーイスカウト時代の仲間が川越に集まります。

前後空いてますので、川越方面の方、会いに行きます。

いずれも、興味のある方は気軽にお問い合わせください。

それでは今週も、どうぞよろしくお願いいたします。

. . . . . . . . . . . . . . .

# 2. まつむら塾より (全部募集中)

現在開催中の講座は下記の通り(1か月分)。

名称	日時・内容	場所	受講料
土曜ガイダンス講座	毎週土曜日 10-17 時	笑恵館	無料
随時ガイダンス講座	随時開催、受付中	応相談	無料
実現学 (火朝教室)	04/06 (土)13-15 時・B33.地域と格差	笑恵館	3,300 円/回
	04/09 (火)10-12 時・B34.地域と情報		
	04/16 (火)10-12 時・B35.地域と世界		
	04/23 (火)16-18 時・B41.ヒトの話		
実現学 (水夜教室)	04/03 (水)20-22 時・B32.地域と資源	zoom	3,300 円/回
受講者1名のため待機	04/10 (水)20-22 時・B33.地域と格差		
中	04/17 (水)20-22 時・B34 地域と情報		
	04/24 (水)20-22 時・B35.地域と世界		

その他、希望者さえいれば、全講座新規開講いたしますので、気軽にお問い合わせください。

### ■地主の学校・販売中

https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp

下記書店にて販売中。

- ・文教堂書店:東川口店、赤羽店、溝の口本店、横須賀 MORE'S 店
- ・紀伊国屋書店:西部東戸塚 S.C.店

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

. . . . . . . . . . . . . . .

### 3. ブログより:無自覚の大多数

日本の国土面積(約 37.8 万 km2)の半分弱(約 17.9 万 km2)が民有地と言われているが、土地の固定資産税を払っている納税者数は 4,155 万人という。

固定資産税というのは民有地の所有者に対して課税される税なので、民有地をこの人数で割ると、一人当たりの所有土地面積は約4,300m2(1,300坪)となり、仮に全国民の人数がこの3倍だとすれば、国民一人当たりの土地面積は1,433m2(約433坪)となる。

また、民有地の他は、国有地 7.84km2 (20.7%)、公有地 3.09km2 (8.2%)、水路・道路等 2.68km2 (7.1%) と続き、残り=不明 6.29m2 (16.6%) となっている。

もしも、残りのすべてが民有地だとすれば、民有地面積はさらに 35%増加して、国民一人当たりの土地面積は 1.934m2 (585 坪) となる。

なお、これらの数字は、平成 28 年 3 月国土交通省 土地・建設産業局 企画課発行の、「平成 27 年度 土地所

有・利用概況 調査報告書」から拾い出したことを添えておく。

•

いきなり数字の羅列から始まったが、僕はここで憤慨した勢いで、著作「地主の学校」を生み出した。 今日は、その顛末を解り易く説明したい。

そこには、「数字そのものに対する驚きが生み出した憤り」があるのはもちろんのことだが、「数字の意味に無頓着で鈍感な人たちへの憤り」の方がはるかに大きい。

いやむしろ、後者の憤りを人々に伝えたいからこそ、僕は本を書いたのだと思う。

案の定、本の売れ行きは伸び悩み、人々の無関心は実証された。

だからこそ、なおさら僕の憤りは膨らみ続ける。

今日僕が伝えたいのは、本に書いた「前者の憤り」でなく、書かなかった「後者の憤り」であり、今日はそれを書いてみようと思う。

•

まず、「自分の原点は、会社倒産という失敗経験」と言う僕の口癖について。

1999 年にメインバンクが破たんして、自分の会社に連鎖倒産の危機が迫った時、僕はカミさんに電話して「悪いけど会社が潰れそうなので、会社の潰し方とか、会社倒産の解説本を探してくれ!」と頼んだのが忘れられない。

数時間後にカミさんから電話がかかり「会社を潰さない本ならあるけど、潰し方の本は見当たらないよ」との 返事だった。

この時僕の頭をよぎったのは、「なぜ少数の成功者に関する情報があるのに、大多数の失敗者に関する情報が見当たらないのか?」という疑問だった。

会社を潰さずに経営できる人はほんの一握りなのに対し、失敗し潰してしまう人が大勢いるのは明らかだ。 だが、同時に気付いたのは、「たとえ潰れても潰さずに済ませたかった」という人が大多数で、「潰したくはないがどうせ潰れるなら少しでもましな潰し方をしたい」と考えた僕が、極めて少数だということだ。 そこで僕は「みんなに相談しながらベストな潰れ方を模索しよう」と決断できた。

.

つまり、僕の気付きは「より多くの人がやるべき誰もやっていないこと」の存在だ。

多くの人が抱えている問題を解決できずにいるのは、その解決策を誰もやろうとしていないから。

必要なのに誰もやろうとしないこと…という「なのにの発想」は、ここから生まれた。

この時から僕は、何事も「全体の数字を把握すること」にこだわり始めた。

例えば「全国の空き家件数800万戸」と聞くと、統計局にその計算方法を問い合わせる。

「全国で無作為抽出した 300 万世帯を調査して、そこから全体数を算出しています」という答えを聞いて、「全数把握でなく推計なんですね?」と問いただす。

これをきっかけに、他国の空き家数データを調べると、イギリスやドイツでは行政が全数把握していることが 分かり、欧米の行政にはこうした住宅供給を管轄する部署があるのに日本には存在しないこと、そしてそもそ も日本では、建設に必要なのは許可でなく確認であり、空き家の増加を食い止める仕組みなど夢にも存在しな いことが判明した。

.

先ほどの日本国土所有者についても、その他=不明が16%以上などあり得ない。

恐らく、昔の検地逃れや縄伸びの名残だとは思われるが、それに気づいても大多数の人が黙秘黙認しているはずだ。

国民一人当たりの土地面積が少なく見積もっても 433 坪もあるのなら、もっと広々と使えるはずだし使うべきだ。

もちろんこれは平均値であり、ほとんどの所有者が数十坪程度所有できているにすぎない。

だがそれは同時に、ごく一握りの少数者が広大な土地を所有していることを意味している上に、その多くは放置され荒廃が進んでいる。

僕が、他人の土地にも口出しし続けるのは、他人事と思えないどころか、自分の怠慢という自責の念によるものだ。

都会の狭い土地にしがみつくのでなく、広々とした自然と折り合いを付けながら生きて行ける人は確かに少数かも知れないが、そうなりたいと願う人は大勢いるに違いない。

一見少数でも、本当は大多数…僕はそんな人たちが目覚める日が楽しみだ。

https://nanoni.co.jp/20240401-2/

4. 今週の動向+今後の予定(下記以外はまつむら塾受付中)

【凡例】◎:要連絡、○:要申込、×:一般参加不可

## ■今週の動向

(火) 04/02 笑恵館作業日

(水) 04/03 笑恵館作業日

交流◎:12-17時 よろず相談会(笑恵館)

講義〇:20-22 時 まつむら塾実現学\_水夜 B32 (zoom)

(木) 04/04 笑恵館作業日

会議◎:13-14時 笑恵館クリーン会議(笑恵館)

(金) 04/05 笑恵館作業日

会食×:19-21 時 誕生会(成城)

(土) 04/06 笑恵館作業日

交流〇:12-17 時 よろず相談会 土 (笑恵館)

講義○:13-15時 まつむら塾実現学 火朝 B33 (笑恵館)

(日) 04/07 各所作業日

交流○:15-17時 いつも元気隊交流会(川越)

(月) 04/08 笑恵館作業日

## ■今後の予定

04/09 会議○: 20-21 時 LR 定例会議\_2 火(笑恵館+zoom)

04/11 会議◎:17-19時 笑恵館運営会議\_2木(笑恵館)

04/13 交流◎:10-17時 よろず相談会\_土 (笑恵館)

04/14 会議○: 20-21 時 100SMILES\_2 目 (zoom)

04/14 会議○:21-22 時 八島花文化財団事務局 M\_2 日 (zoom)

04/18 交流◎:13-18時 なるほどデイ\_3木(笑恵館)

04/18 交流◎:18-20時 10周年持ち寄り食事会\_3木(笑恵館)

04/21 交流○:10·14 時 名栗の森 OSC 例会\_4 日 (飯能)

04/23 会議○: 20-21 時 LR 定例会議 4 火 (zoom)

04/25 交流 $\odot$ : 10-12 時 笑恵館 de シネマ $\_4$  木朝(笑恵館) 04/25 会議 $\odot$ : 17-19 時 笑恵館 10 周年総会 $\_4$  木(笑恵館) 04/25 交流 $\odot$ : 19-21 時 笑恵館 de シネマ $\_4$  木夜(笑恵館)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

http://nanoni.co.jp/schedule

. . . . . . . . . . . . . . . .

### 5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

### 自宅:

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館 http://shokeikan.com/

主な所属団体:

株式会社なのに (取締役・平社員)

http://nanoni.co.jp/

一般社団法人日本土地資源協会(代表理事)

http://land-resource.org/

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL (事務局長)

http://www.home-for-all.org/

. . . . . . . . . . . . . . . .

### 6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。 参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

http://nanoni.co.jp/magazine/

メール配信をご希望の方はこちら

http://eepurl.com/dHjgFX

まぐまぐ版はこちら

https://www.mag2.com/m/0001693746